

世界で唯一の花【三次元重心検知理論ヒストリア】

渡邊豊

研究者の人生に出港した時、「世界で唯一の花を生み育てる!」と決意する。師事したのは戦争を船乗りで生き抜いた教授。彼曰く「これからはコンテナの時代だ」。針路が定まる。「コンテナか!それ行け港だ!」。そこで出会ったのは猛々しい港湾労働者たち。宿題を突き付けられる。「コンテナ横転は普通の交通事故やない!何十トンの貨物が千差万別で積まれ毎日変わるんや!」。横転の原理は簡明だ。重心に加わる遠心力が勝れば横転する。問題は重心をどうやって見つけるか。積載状態は不明、成す術がない。途方に暮れ海を眺めていた時、亡き恩師の教えが蘇る。「出航前に重心を調べ、沖で遭遇する揺れを推定する。」すべてが一瞬に解ける。船では揺れ=f(重心)である。ならば、重心=f⁻¹(揺れ)を解けば、コンテナの重心を求められる。三次元重心検知理論=海の知識の逆関数。世界で唯一の花が芽生える(2006年)。震災復興支援の縁で横転防止から転覆予知波高計を達成(2014年)。志高き学生たちが集まり始める。彼女たち彼らのひたむきな献身が、三次元重心検知理論を人間重心検知理論へと進化させる(2020年)。著名大を凌駕して Measurement and Control Show 最優秀賞(2022年)。そして、1950年代米国政府創設以来アジア初となる ESV/SSTDC 全世界大会優勝(2023年)。40年前に出港した時には想像すらできなかった、清々しい寄港地に入港させてくれたのは、教え子たちであった。世界で唯一の花は成長を続けている。その先の寄港地へ、いざ、出港!



全世界大会優勝表彰式にて（左端から徐姍，小野寺望鈴，于凯伦，渡邊豊）